* 入力:タスクτi(i=1,…,n)の時刻t(t=0,1)における残余実行時間c\_i(t),余裕時間L\_i(t),及びq(q=0,1)ステップ目におけるメモリ増分m\_i(q)
* 出力:LMCLFでスケジュールした場合に,2ステップ後のメモリ消費量が最小となるようなα

１．i=1~nまで以下を繰り返す

* 1. 全てのj∈{1,2,…,n}∖{i}に対して以下を繰り返す
     1. もしm\_i(i)<m\_j(j)ならば（m\_i(i)α+C\_i(i)\*Li<m\_j(j)α+C\_j(j)\*L\_j(j)かつ m\_j(j)>m\_i(i)）
        1. αの上限(c\_i(i)\*L\_i(i)-c\_j(j)\*L\_j(j))/(m\_i(i)-m\_j(j))を求める
     2. さもなければ（m\_i(i)α+C\_i(i)\*L\_i(i)<m\_j(j)α+C\_j(j)\*L\_j(j)  かつ  m\_j(j)<m\_i(i)）
        1. αの下限(c\_j(j)\*L\_j(j)-c\_i(i)\*L\_i(i))/(m\_i(i)-m\_j(j))を求める
  2. k=1~nまで以下を繰り返す
     1. 全てのl∈{1,2,…,n}∖{k}に対して以下を繰り返す
        1. もしm\_k(k)<m\_l(l)ならば

（m\_k(k)α+C\_k(k)\*L\_k(k)<m\_l(l)α+C\_l(l)\*L\_l(l)  かつ m\_l(l)>m\_k(k)）

* + - * 1. αの上限(c\_k(k)\*L\_k(k)-c\_l(l)\*L\_l(l))/(m\_l((l)-m\_k(k))を求める
      1. さもなければ

（m\_k(k)α+C\_k(k)\*L\_k(k)<m\_l(l)α+C\_i(i)\*L\_i(i)  かつ m\_l(l)<m\_k(k)）

* + - * 1. αの下限(c\_l(l)\*L\_l(l)-c\_k(k)\*L\_k(k))/(m\_k(k)-m\_l((l))を求める
    1. 今まで求めたαの上限下限を満たすαが存在するならば
       1. もしm\_i(i+1)>0ならば
          1. 最悪メモリ消費量max(m\_i(i),m\_i(i)+m\_i(i+1))を求める
       2. さもなければ
          1. 最悪メモリ消費量max(m\_i(i),m\_i(i))を求める
       3. さもなければ
          1. もしm\_k(k)>0ならば

最悪メモリ消費量max(m\_i(i),m\_i(i)+m\_k(k))を求める

* + - * 1. さもなければ

最悪メモリ消費量max(m\_i(i),m\_i(i))を求める

* + - 1. 今まで求めた最悪メモリ消費量よりも小さいならば
         1. 今まで求めたαの上限下限を満たすαを求めて,求めるαの候補とする